

《実習科目 実習科目》

科目名	教育実習（中）				
担当者氏名	山本 元子				
授業方法	実習	単位・必選	4・選択	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 実習-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

教職は、社会的自覚の上に成立するため、強い使命感はもとより、高度の専門的知識と優れた技能が求められる。中学校での教育実習は、大学における教育・研究を通して得た教育についての理論や、教科についての専門的知識、及び、生徒の理解等を総合的に実践できるように、学習指導案の作成、生徒の発達段階とその理解、場面指導、地域連携等々を実習という体験の中で展開していく。

《授業の到達目標》

学校現場は、教職教養を含めた大学教育全体の総合的実践であるとともに、教育の現場において、教育における課題を見つけ出し、教育技術を身に付けていく創造的生活体験の場である。学校教育において必要とされる教師の態度、技能を身に付けることを目的とする。また、教育現場で必要とされる実践能力を具体化し、さらには生徒との直接の触れ合いの中で育ち培われる能力を身に付けることを目的とする。

《成績評価の方法》

勤務状況40%
 実習校での評価40%
 教育実習ノート及び学習指導案を含む実習報告10%
 社会人としての基本的な行動10%”

《テキスト》

教育実習の手引き（大学指定）
 新しい英語科授業の実践（金星堂）

《参考図書》

適宜、指示する。

《授業時間外学習》

- ・実習前には、実習校との事前打合せをていねいに行う。
- ・学校ボランティア活動等を行っておくこと。
- ・実習の準備（指導案作成）をしておく。
- ・実習校からの指導・助言や気付いたことは記録しておき、実習後に振り替える省察の資料とする。
- ・公務員、教職としての服務規程を徹底する。

《備考（教員経験の有無）》

- ・文部科学省 業績審査 単独指導可

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	教育実とは
2	教育実習の実際 1	勤務についての心得について
3	教育実習の実際 2	事前訪問と実習ノートの記入方法
4	教育実習の実際 3	実習生の一日、評価の意義
5	指導の実際	教師の活動（学級・校務分掌業務）の一端を分担し、役割を自覚し、教員としての在り方を理解。授業研究の意義と目的
6	教科指導 1	英語科の指導方法
7	教科指導 2	英語の授業研究①
8	教科指導 3	授業における教師の会話術、板書の構造化、授業分析等の諸技術の習得。英語の授業研究②
9	教科指導 4	授業における、発問の構成、視聴覚教材の創意工夫等の諸技術の習得。英語の授業研究③
10	領域、時間、特別の教科の指導①	総合的な学習の時間、特活、特別の教科道徳の指導法と実践
11	事後指導 1	実習体験報告等①
12	事後指導 2	実習体験報告等②
13	事後指導 3	実習体験報告等③
14	英語指導の評価とは	自己評価とその課題
15	まとめ	まとめ